

吉川市議会議員

安田真也 活動レポート

市議会議員 安田真也事務所

〒342-0038 吉川市美南4-25-43

TEL:048-945-0946 E-mail:shinya-yasuda@hotmail.co.jp



討議資料

時期が遅くなりましたが、本年もよろしくお願ひします。今回は昨年末行われた12月定例会レポートと活動報告をお届けします。

今年のNHK大河ドラマは「花燃ゆ」。幕末の天才思想家であり兵法家である吉田松陰。その妹が主人公とのこと。吉田松陰の「草莽崛起（そうもうくつき）」という言葉は、私が政治の世界に足を踏み入れた動機の一つになった言葉でもあります。エリートではなく、志を持った在野の人間が、社会を変革していく原動力になっていくという意味であると理解をしています。初心忘るべからず。今年も志を忘れることなく活動をしてまいります。

さて、本年は昨年末に行われた国政選挙に引き続き、2月には市長選挙、4月には県議会議員選挙が行われます。吉川市の将来、方向性を決める大事な選挙です。ぜひ、投票所へ足をお運びいただきますようお願いいたします。

本年が皆様によって実り多き1年であることをご祈念いたします。

吉川市議会議員 安田 真也

吉川市議会 平成26年度12月定例会

市長から条例等7件、人事案件2件、補正予算6件、その他2件の計17件が提出され、慎重審議の結果、全議案可決しました。

- 市立図書館・視聴覚ライブラリー図書館の開館時間が1時間早まり、午前9時開館となります（開館時間：9：00～19：00）。また、祝日の次の日は休館日でしたが、開館することになりました。
- 学童保育については、中曽根学童、関学童の保育室不足を補うため、各1教室ずつ整備する予算が組まれました。また、土曜日の保育時間が18：30まで延長することになりました。※**新年度より、入所対象児童が小学6年生までになります。**
- 私が所属している会派「自民・みらい」が提出した「**吉川市の地域医療の充実に向けた対策を求める決議**」が全会一致で採択されました。

衆議院議員選挙終わる

昨年末の衆議院議員選挙の結果（吉川市分）

小選挙区 市内全体の投票率 48.21%

当選 **三ツ林ひろみ（自民党） 12,015票**
 鈴木よしひろ（維新の党） 8,797票
 苗村みつお（日本共産党） 4,441票

小選挙区投票率（南部地区投票所別）

児童館ワンダーランド 36.83%
 中曽根小学校体育館 40.71%
 中央公民館 37.22%
 美南地区公民館 38.07%

おあしす投票所 46.71%(市内最高投票率)
 下内川公会堂投票所 32.71%(市内最低投票率)

※未来へつなぐ1票です。投票は必ず行きましょう。

会派視察

26年11月13日、14日の両日に「シティープロモーション」・「公民連携を活用した駅前整備事業」・「議会改革（議会報告会・通年議会）」の視察を行い、岩手県花巻市、岩手県紫波町のご担当の方から丁寧にご説明をいただきました。花巻市では宮沢賢治のまちづくりと言うことで、市役所内に「賢治まちづくり課」を設置、また市民との協働で「賢治のまちづくり委員会」を立ち上げるなど官民挙げてのシティープロモーションでした。市内には至るところに賢治作品をモデルにした作品が展示してあり、建築・景観・教育・文化色々な面において「賢治のまち」という一体感のあるまちづくりを行っていたのが印象的でした。紫波町では紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）の視察を行い、公民連携を活用した新しい開発方法について学ばせていただきました。紫波町議会では議会報告会の運営・通年議会の取り組みについて議会事務局さん、担当委員長さんのお話を聞くことが出来ました。

この成果を今後の街づくりへの提案、議会活性化へと繋げていきたいと思ひます。



花巻市 だあすこ（産直）



花巻市役所にて



紫波町 オガールベース



紫波町議会 議会改革説明



安田真也プロフィール

- ・昭和54年（1979年）岩手県花巻市生まれ
- ・岩手県立花巻北高等学校／獨協大学法学部 在学中、松原学院（現：総合学習塾マインズ）で時間講師
- ・政治分野では、参議院議員 田村秀昭（元空将）事務所スタッフ
- ・衆議院議員 武山百合子 秘書
- ・さいたまコープ勤務
- ・「食の安心安全」について学ばせていただきました。
- ・大手人材派遣会社（京都支店長、関西営業課主任）勤務
- ・縁のある方にお誘いを受け、京都から吉川へ

家 族：妻、柴犬
 趣 味：旅行、フットサル
 座右の銘：天下為公

- ・平成20年 吉川市議会議員選挙に初当選（当時28歳）
- ・平成22年 山田宏杉並区長、中田宏横浜市長とともに「日本創新党」結党
- ・平成24年 吉川市議会議員選挙に当選（2期目）
- ・市議会会派「自民・みらい」結成
- ・平成24年 「日本創新党」解党にともない「自民党」に入党

現在の役職

- ・吉川市議会総務水道常任委員会 委員長
- ・江戸川水防事務組合議会 議長（構成団体：三郷市、春日部市、吉川市、松伏町）

その他

- ・吉川市自衛隊父兄会 理事
- ・明治神宮崇敬会 吉川松伏支部 副支部長

これまでの役職

- ・吉川市議会文教福祉常任委員会 委員長
- ・吉川市土地開発公社 理事

自民党



12月定例会にて2点について一般質問をしました

保健事業問題

1点目は特に若い世代に関心が高い「保健事業の問題」です。簡単に概略を説明しますと、医師会に加盟している一部の医師が吉川松伏医師会内の議決に反し、別の医師会団体を立ち上げたことにより、吉川松伏医師会から除名処分を受けたものです。

吉川市は市民の健康を守るため、市の保健事業は他市町村と同様に医師会（吉川市の場合は吉川松伏医師会）に一括して委託契約をしています。そこで問題となったのは、除名された医療機関を市の保健事業にて受診している患者さんが今まで通りに利用できなくなった点です。市の保健事業については公費負担があり、患者さんが窓口でお支払いをしなくてもよい仕組みになっています。

しかしながら、除名された医療機関での予防接種では一旦費用の全額を窓口で払う必要があります。そこで吉川市では、除名された医療機関にて市の保健事業を受けている患者さんの負担を減らすため、例外的に里帰り等で接種する場合の「区域外接種制度」（吉川市外で予防接種をする場合には事前に届け出をすると、後ほど返金されるシステム）を運用しています。

戸張市長は以前の定例会において、吉川松伏医師会と除名された医師との間の裁判経過を注視し、裁判が確定した後、両当事者間で関係修復の機運が高まってきた場合には、タイミングをとらえて汗をかくこともやぶさかではないと答えています。そこで、今回は裁判の経過と今後の対応について質問をしました。

答弁

平成24年11月22日に東京地方裁判所に、除名された医師から吉川松伏医師会を相手とし地位確認請求事件が提訴され、平成26年6月18日に原告の請求を棄却する判決が出されました。その後、平成26年8月11日に東京高等裁判所に控訴をし、平成26年11月19日に原告の控訴を棄却する判決が出されたと同っています。また、平成26年12月5日に最高裁判所に上告されたと同っており、裁判の行方を注視しているところです。

当市といたしましては、引き続き「区域外接種」の制度の運用により、市民への影響が最少化するように努めてまいりたいと考えております。なお、除名となった医師が一日も早く吉川松伏医師会に復帰して当市の保健事業にご協力いただけることを望んでいるところでございます。



吉川美南駅周辺の賑わい創出

2点目は吉川美南駅周辺の賑わい創出についての質問です。市民の方から、JRの終電をもっと遅い時間にして欲しい、美南駅に始発終着をつくって欲しい、魅力ある商業施設を作って欲しい等々の要望を少なからず頂いており、その一助になればと質問させていただきました。

答弁

JR吉川美南駅の平成25年度における1日平均乗車人員は2,350人で、対前年度比約137%と武蔵野線沿線内では最も乗客数の伸び率が高い駅となっており、開業後から美南地区の人口増加に合わせ利用者数が増加している状況です。東京駅八重洲口から出発するJRバス関東の深夜バスの降客データについては、市内停留所における平成25年度の降客数の平均は1便あたり約9人となっており、ここ数年は同程度で推移しています。

鉄道利用者増の施策については、戦略的に市外からの来訪者を呼び込むための空間作りが有効であると認識しています。流山市ではシティプロモーション活動の一環として、首都圏や鉄道沿線住民を対象とした駅前でのイベントを実施しており、駅を中心とした魅力的な空間づくりに取り組んでいます。今後につきましては、先進的な事例を十分参考にしながら、魅力的なまちづくりを推進していきます。



ちなみに・・・

JRバス関東はJR東京駅八重洲口から出発し、約1時間で市内に到着することができます。

東京駅八重洲口	22:30	0:00
高久町田(美南)	23:14	0:44
育暎保育園入口(高富)	23:16	0:46
吉川駅前	23:20	0:50
中野尻	23:22	0:52
ルネサンス吉川入口	23:24	0:54
吉川団地	23:26	0:56
吉川団地北	23:27	0:57
おあしす前	23:29	0:59
旭小学校入口	23:35	1:05
東さいたまテクノポリス	23:38	1:08

※詳しくは、JRバス関東HPをご覧ください。

見えてきたこと

- 保健事業の問題では当事者間の関係修復の機運が大事。
- 市民・患者の利便性を考え、来年度も「区域外接種」制度を運用。
- 除名された医師には、1日でも早く医師会に戻って欲しい。
- JRバスの降客数から見ると、終電延長の可能性は極めて低い。
- 美南駅西口の有効活用、そして東口の早期開発が望まれる。

地域の現場から



11月16日に開催された吉川市民まつりに参加。理事を務める吉川市自衛隊父兄会のブースにて。



12月7日に開催された木売町会の餅つきにお招きをいただき参加。湯気を囲んで、お年寄りからちびっ子まで集まる活気あるイベントでした。